

## 各段階における「リハビリテーション体育」の内容

| 段階   | 医学的<br>配慮 | 領域   | 対象者                           | 目的  |
|------|-----------|------|-------------------------------|---|
| 第1段階 |           | 医療   | 受傷後、回復期から慢性期へ移行する者            | <p style="text-align: center; background-color: #ffccff; padding: 5px;"><b>こころとからだの動きづくり</b></p> <p>医学的リハビリテーションによって獲得した運動機能(移動能力など)を更に前進させ、社会生活やスポーツ活動に必要なダイナミックで応用的・実用的な運動能力を喚起する。<br/>また、その過程で自己効力感やモチベーションを高める。</p> |
| 第2段階 |           | 社会福祉 | 自立支援施設などで、ADL(日常生活動作)の確立をめざす者 | <p style="text-align: center; background-color: #ffccff; padding: 5px;"><b>体力づくり</b></p> <p>生活の場で自立した健康・体力づくりとしてのスポーツ活動ができるようなトレーニング指導や、メンタルヘルスを含む健康管理指導、体力測定などを行いながら、社会適応能力を高める。</p>                                   |
| 第3段階 |           | 社会福祉 | 就労移行支援施設などで職業訓練を受けている者        | <p style="text-align: center; background-color: #ffccff; padding: 5px;"><b>健康管理</b></p> <p>就労時に必要となる体力を身に付け、ストレスマネジメント手段としての運動・スポーツが実施できるよう指導する。</p>  |
| 第4段階 |           | 地域   | 地域社会で生活する者                    | <p style="text-align: center; background-color: #ffccff; padding: 5px;"><b>社会参加</b></p> <p>二次障害の予防を含む健康の維持・増進、および生活の質(QOL)の向上を図るために、アダプティッドスポーツ、レジャー・レクリエーションを提供・指導し、対象者自らが選択し、自立したスポーツ活動が行えるよう支援する。</p>                |